

2021年7月26日 ローマ

持続可能な農業・食料システムへの移行のためのイノベーションに関する日 EU 間協力の強化

我々、日本国農林水産大臣と欧州委員会農業・農村開発担当委員は、来たる国連食料システムサミットの準備において国連が提起した問題、特に食料システムの基幹である農業・農村地域にもたらされた課題に対して、その重要性を共に認識する。

我々は、国連食料システムサミットの成功のためには、多国間での行動が重要であると信じる。我々は、この目的のために、日 EU 経済連携協定の農業分野における協力章の活用を含め、日 EU 間の関係を強化したいと考えている。

本日、我々は、より持続可能な農業生産と食料システムへの必要な移行を支援するための取組を、さらに促進することを確認した。我々は、農業分野のイノベーションが重要であることを認識した上で、我々の自然的・社会的環境や食文化の多様性に基づいた確固たる解決策と道筋について、共同で取り組む。研究開発、人的資本の強化、及びその他の関連する活動が奨励されるべきであり、官民を問わず、すべての関係者に、これらの分野への関与と投資を呼びかける。

この目的のため、我々は、土壌の健全性や気候変動などの分野において、持続可能な農業と農村開発のためのイノベーションを後押しする既存の農業協力や、多国間協力への関与を改めて確認した。